

地方独立行政法人広島県立病院機構 令和7年度 年度計画

第1 年度計画の期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日までの1年間とする。

第2 高度医療・人材育成拠点の整備

1 高度医療・人材育成拠点整備に向けた取組

(1) 高度急性期を中心とした医療機能

ア 「断らない救急」体制の構築

- ① 救急部門の運営に必要な必要医療機器等の精査
- ② 輪番病院との役割分担の整理及びウォークイン受け入れ施設の充実・強化に向けた関係者との合意形成
- ③ 他院と連携した病床管理に関するシステムの仕様策定
- ④ 特定行為パッケージ研修の実施に向けた課題整理
- ⑤ 救急部門に関わる医療スタッフ必要数の精緻化、救急救命士増員及び各診療科との合意形成

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-----------|---------|---------|
| 救急搬送患者応需率 | 85.4% | 88.0% |
| 救急車受入台数 | 8,941台 | 9,580台 |

イ 幅広い疾患に対応する「こども病院」

- ① 小児集中治療室（P I C U）に必要な医療機器等の精査
- ② P I C U立ち上げに向けた連携施設の選定及び訪問
- ③ 不妊治療に関わる先進医療の充実に向けた課題整理（施設基準等の確認）
- ④ 児童・思春期症例に関わる医療機関との連携方法の在り方検討
- ⑤ 小児医療を提供する基幹病院等との協議による役割分担の方向性に関する関係者との合意形成
- ⑥ 舟入市民病院の機能移管に向けた医療スタッフへの研修開始
- ⑦ 小児医療に関わる医療スタッフ必要数の精緻化
- ⑧ P I C U立ち上げに関する先進医療機関への研修計画の概要策定

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------------------|---------|---------|
| トリアージ研修受講看護師 | 0人 | 4人 |
| 小児医療に関わる先進医療機関への訪問回数 | 2回 | 2回 |

ウ 最新の集学的ながん医療

- ① 最新の集学的治療を提供するために必要な医療機器の精緻化
- ② 手術室及び化学療法室の効率的な運用に向けた課題整理と基本方針の策定
- ③ がん遺伝子パネル検査の増加とエキスパートパネルを活用したがん医療の更なる高度化
- ④ 診療科横断的ながん治療体制（カンサーボード）に向けた院内協議による課題整理
- ⑤ 広島大学との治験、臨床研究における連携体制の在り方策定
- ⑥ 地域の医療機関や健診センターとの連携の充実に向けた訪問活動
- ⑦ がん医療に関わる医療スタッフ必要数の精緻化

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------|---------|---------|
| 新規がん登録件数 | 2,979件 | 3,000件 |

エ 新興・再興感染症への対応

- ① 第二種感染症指定医療機関として必要な感染症病床の設備等の精緻化
- ② 感染症対策連携協議会における新病院の感染症医療上の位置づけに関する合意形成
- ③ 感染症疑似患者の診療を想定したゾーニング（動線）の精緻化
- ④ ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関への視察及び連携体制の構築
- ⑤ 感染症流行時の病床運用の基本方針等策定
- ⑥ 独立した感染症部門設置に向けた在り方策定
- ⑦ 感染症流行時を想定した訓練の質向上に向けた課題整理
- ⑧ 感染症対応の中核となる医療スタッフ必要数の精緻化

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------------------------|---------|---------|
| ハイレベルな院内感染対策等を行う医療機関への視察回数 | 0回 | 2回 |

オ 災害対応

- ① 災害時の患者受入れに必要なトリアージスペース等の確認及び設計図面の必要に応じた見直し
- ② 新病院の機能不全時を想定した地域の医療機関との連携の在り方策定
- ③ 災害対応マニュアル及びシミュレーション訓練の質向上に向けた課題整理
- ④ DMA T 5 隊編成を目指した必要人員の精緻化及び研修計画作成

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-----------------------------|---------|---------|
| 新病院機能不全時の対策に関する広島大学病院との協議回数 | 0回 | 2回 |

カ 各診療領域における高度急性期を中心とする拠点の整備

- ① 高度医療の提供に必要な医療機器等の精緻化
- ② 既存の専門チームの体制の改変も含めた新病院における専門チーム編成の精緻化
- ③ 患者情報の共有やクリニカルパスの充実に向けた関係医療機関との協議
- ④ 高難度治療実施に向けた各学会の施設基準等の調査と課題整理
- ⑤ 手術室の効率的運用に向けた課題整理と一部施策の実施
- ⑥ 周辺医療機関との役割分担に向けた協議実施（再掲）
- ⑦ 各診療科、各部門における医療スタッフ必要数の精緻化
- ⑧ 専門研修プログラムの充実に向けた課題整理と関係医療機関との調整

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|------------|---------|---------|
| ロボット支援手術件数 | 199件 | 285件 |

(2) 医療人材育成機能

ア 高度急性期医療を担う人材確保・育成

- ① シミュレーションセンターに必要な医療機器等の精査
- ② 現状の研修プログラムの充実に向けた課題整理
- ③ 多様な勤務形態の検討に向けた事例調査及び制度概要設計
- ④ 教育部門によるキャリアサポートセンターの在り方検討
- ⑤ 高難度治療実施に向けた各学会の施設基準等の調査及び課題整理
- ⑥ 専門研修プログラムの充実に向けた課題整理と関係医療機関との調整
- ⑦ 教育部門による学会や資格取得に向けた研修等に対する支援方法の改善
- ⑧ 教育部門の中核となる人材の処遇改善を含めた在り方検討
- ⑨ 教育部門による指導者研修プログラムの開発に向けた事例調査、指導者に対する評価方法の事例調査及び制度設計
- ⑩ 特定行為パッケージ研修の実施に向けた課題整理（再掲）
- ⑪ 各診療科、各部門における医療スタッフ必要数の精緻化（再掲）
- ⑫ 病院総合医の育成実績のある有力医療機関と連携した人材確保
- ⑬ 広報部門によるSNSやレジナビなどを利用した広報戦略方針の検討

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------------------|---------|---------|
| 先進施設訪問件数（勤務形態、人材育成等） | 2件 | 3件 |

イ 地域医療を担う人材確保・育成

- ① 中山間地域に勤務する医療スタッフに対する人事交流、研修実施等へのニーズの具体化及び課題整理
- ② 専門研修プログラム（総合診療）の充実に向けた課題整理と一部施策の改善

- ③ 専門研修プログラム（各領域）の充実・整備における中山間地域との連携の在り方策定
- ④ 多様な勤務形態の検討に向けた事例調査及び制度概要設計
- ⑤ 教育部門によるキャリアサポートセンターの在り方検討
- ⑥ 新・家庭医プログラム専門研修等の整備に向けた要件及び課題整理
- ⑦ 教育部門による学会や資格取得に向けた研修等に対する支援方法の改善
- ⑧ 新病院開院時における広島大学病院総合診療医センターとの連携の在り方検討
- ⑨ 教育部門の中核となる人材の在り方検討
- ⑩ 教育部門による指導者研修プログラムの開発に向けた事例調査、指導者に対する評価方法の事例調査及び制度設計

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-------------------------------|---------|---------|
| 専門研修プログラム（総合診療）選択人数 | 0人 | 2人 |
| 中山間地域の医療機関との研修プログラム充実に向けた協議回数 | 0回 | 3回 |

ウ 病院経営を担う人材の確保・育成

- ① 病院経営に関連した専門資格の取得や大学院等が開講する専門課程、公開講座等の情報収集及びスタッフの受講奨励に必要な経済的支援の計画策定
- ② B I ツールの導入・活用に向けた先進事例調査及び自組織内のニーズの具体化

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-------------|---------|---------|
| 専門資格*新規合格者数 | — | 3人 |

※病院経営管理士、医療経営士、医業経営コンサルタント等

(3) 広島県の医療提供体制を支える機能

ア 県内の拠点病院等との連携

- ① 地域の拠点病院との連携（カンファレンス、人定交流）のニーズの具体化、在り方策定
- ② 遠隔診療等に必要な医療機器の精緻化
- ③ 広島大学との役割分担に向けた協議実施及び基本方針の策定
- ④ 地域の医療機関との連携を強化する専門人材の具体化及び必要数の精緻化
- ⑤ 高度急性期の提供に資する医療スタッフ及び新病院で確保・育成すべき中山間地域等の医療を維持するための人材必要数の精緻化

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|------------------|---------|---------|
| 拠点病院との連携に関する協議回数 | 0回 | 3回 |
| 広島大学と連携に関する協議回数 | 0回 | 3回 |

イ 周辺の医療機関と連携した地域完結型医療

- ① 救急部門の運営や高度医療の提供に必要な設備・医療機器等の精査
- ② 病院間連携におけるニーズや課題に関する地域の医療機関との協議
- ③ 既存病院における令和8年度のシステム導入を視野に入れた先進事例の視察
- ④ 基幹病院連携に関する意見交換会を通じた広島都市圏における課題の共有及び連携可能な診療領域、医療機能の具体化
- ⑤ 協議会設置に向けた関係者との協議及び運営方針や会議頻度、役割分担等に関する計画策定（ネットワーク構築）
- ⑥ 周術期支援センター等の機能充実に向けた患者総合支援センターの組織体制の具体的な検討
- ⑦ 地域の医療機関との患者紹介、逆紹介における現在の状況把握と課題整理
- ⑧ 専任スタッフ配置の具体的な検討及び必要性とタイミングを考慮した効果的な訪問活動の計画策定

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|------------------|---------|---------|
| 地域医療従事者を対象とした研修会 | — | 4回 |
| 地域の医療機関への訪問活動回数 | 329回 | 350回 |

(4) その他

ア 戦略的な広報の推進

- ① 県民とのパブリックリレーションの構築に向けた進捗状況の確認及び課題整理
- ② ホームページやSNS等での情報発信の頻度や内容精査及びレジナビへの出展等の実施と成果把握
- ③ 地域医療機関と連携した効果的な広報手段の検討
- ④ 計画遂行に必要な広報担当者の育成方針の検討

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-------------------|---------|---------|
| 地域住民向け講座・セミナー等の実施 | 49件 | 50件 |
| ホームページ閲覧件数 | — | 30,000件 |

イ 医療DXの推進

- ① 院内関係者による各種経営指標を可視化するBIツール導入に向けた検討
- ② AIによる放射線診療診断支援や資料作成支援等について業者のデモ等を通じた業務への適用の調査
- ③ 職員用スマートフォン配付するなど、職員間のコミュニケーションの自由度と確実性の向上に向けた仕組みの検討
- ④ スマートベッド等の病床管理システムの試験導入に向けた導入対象や規模な

どについて具体化の検討

- ⑤ 先端技術を用いた取組による医療の質向上、経営改善などが図られた施設への視察及び事例の調査
- ⑥ 国が進める医療DX詳細情報の適宜確認及び病院関係者等から診療情報の連携方法のニーズの深堀
- ⑦ 最新のセキュリティ脅威に関する情報収集やBCPに関するシミュレーションの実施
- ⑧ 専用端末等を用いた呼び出しシステムによる患者の待ち時間短縮や会計後払い方法など、患者の利便性を向上させる仕組みについて業者のデモ等を通じた導入の調査
- ⑨ 必要な人材像の具体化や業務内容の精査によるICT技術を用いたシステム化検討及び人材育成方針について検討

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|--------------------------|---------|---------|
| 患者満足度（待ち時間） | 54.1% | 55.0% |
| 医師の年間時間外労働時間 960 時間以上の人数 | 7人 | 6人 |

ウ 積極的な臨床研究の実施

- ① 大学と県内の基幹病院、その他の臨床研究中核病院等における施設間連携を要するプロジェクトの進捗状況の把握及び課題整理
- ② 症例データの収集におけるICT技術の全国的な利用状況の把握及びニーズの明確化
- ③ 課題解決に必要な専門スタッフ（臨床研究コーディネーター等）の確保及び育成人数の計画策定

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-------|---------|---------|
| 企業治験数 | 25 | 30 |
| 英文論文数 | 25 | 30 |

エ 安定的な経営基盤の構築

- ① 地域医療機関への訪問及び機能分化連携による患者の確保
- ② 診療報酬を踏まえた適切な施設基準の届出・算定による収入確保や不要な査定・返戻の回避に向けた業務体制の構築
- ③ TQM（トータル・クオリティ・マネジメント）、5S活動などの業務改善の継続
- ④ 診療材料・薬品の適切な在庫管理と共同購入の検討
- ⑤ 的確な投資を実施するための仕組みと効果検証の体制構築
- ⑥ 既存病院の業務運営体制の課題検証と中期計画を達成するためのPDCAサ

イクルの確立

- ⑦ 県から適切な運営費負担金を受け、中期目標達成に向けた取組を確実に実施することによる県の医療政策として求められる医療の安定的かつ継続的な提供

第3 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 高度医療の安定的かつ継続的な提供と地域医療への貢献

(1) 県立広島病院

- ① 救急部会での救急患者受入要請の不应需事例の検証及び改善策の策定
- ② 看護師及び看護補助者の確保による夜勤看護体制の強化
- ③ 救急部門と内科系診療科の連携（ベッドコントロール）の強化
- ④ 幅広い疾患の患者に対応可能な総合診療医の確保及び育成、総合診療科及び救急科の連携による二次救急医療の提供
- ⑤ 他の診療科との連携や対応方針を協議する脳心臓血管センターカンファレンスの実施
- ⑥ ハイブリッド手術室の整備に伴うTAVI（経カテーテル的弁置換術）の施設認定に向けた心臓血管外科医の確保や必要症例数の充足
- ⑦ 新たに導入した最新のアブレーション治療機器を活用した心疾患治療体制の強化
- ⑧ 看護師、助産師、理学療法士、臨床心理士など多職種協働による出産・産後の心理的ケアなど、専門性が発揮できる周産期医療の実施
- ⑨ 遺伝子解析を活用した診断に基づく最適治療の実施及び手術支援ロボットの手術セットの追加した効率的な運用によるロボット手術件数の増加
- ⑩ 複数診療科・多職種にまたがる定期的なカンファレンスの実施
- ⑪ 地域における救急医療の提供、紹介患者に必要な医療の提供、開放病床、医療機器等の共同利用等について地域のかかりつけ医等関連保険医療機関と連携した地域医療の円滑な運営の支援
- ⑫ 看護師を含め必要な人材を確保するなど各診療科医療スタッフ及び部門別医療スタッフ必要数について現場の状況を踏まえた精緻化
- ⑬ 休日の病床稼働向上に向けた救急受入体制の強化
- ⑭ 社会人採用の強化及び中電病院を含む関係病院からの看護師派遣等による段階的な稼働病床の拡大

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-----------------|---------|---------|
| 救急車受入台数（再掲） | 7,141台 | 7,600台 |
| 紹介率 | 96.3% | 96.3% |
| 逆紹介率 | 148.2% | 148.2% |
| 三次救急（ホットライン）受入率 | 85.4% | 88.0% |

| | | |
|-----------------|---------|---------|
| 緊急母体搬送受入件数 | 143 件 | 150 件 |
| 院内がん登録件数（暦年） | 2,222 件 | 2,250 件 |
| がんゲノムプロファイリング件数 | 184 件 | 155 件 |
| 全身麻酔手術件数 | 4,662 件 | 4,800 件 |
| ロボット支援手術件数 | 199 件 | 210 件 |

(2) 県立安芸津病院

- ① 法人内での職員派遣等の連携強化による専門医療提供体制及び救急受入体制の強化
- ② 強みの一つである整形外科領域の機能充実に向けたMRIの積極的な活用による高精度かつ安全な医療の提供
- ③ 救急隊との受入可能症例の共有などによる救急患者の積極的な受入れ
- ④ 専門外来や整形外科によるアウトリーチクリニックなどの専門性及び機能を生かした地域での医療提供
- ⑤ ケアマネージャーとの連携による在宅医療や訪問看護の利用の促進及び退院前・退院後訪問のフォローによる退院後の不安を軽減する取組の継続
- ⑥ 地域の医療機関や介護施設との連携強化に向けた医療機関への積極的な訪問及び院内外での意見交換会の実施
- ⑦ 健（検）診の実施体制強化に向けたオペレーションの見直し及び医療公開講座や地域イベントへの参加、地元企業や行政機関への積極的なアプローチによる受診の促進

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-------------|---------|---------|
| 救急車受入台数（再掲） | 368 台 | 380 台 |
| 紹介率 | 18.3% | 19.0% |
| 逆紹介率 | 24.7% | 24.7% |
| 専門外来受診患者数 | 1,448 人 | 1,480 人 |
| 訪問看護件数 | 1,886 件 | 2,000 件 |
| 健（検）診件数 | 1,115 件 | 1,150 件 |

(3) 県立二葉の里病院

- ① 救急体制の確保による救急車受入台数の増加
- ② 新たに導入したロボット支援手術の活用や内視鏡センターの機能拡充等による手術症例の増加
- ③ 専門医の配置と各科医師のバックアップによる救急体制（二次輪番を含む）の強化
- ④ 地域の医療・介護施設との連携による診療科単位での患者の紹介・逆紹介の実施
- ⑤ 地域の医療・介護施設との医療従事者の相互研修の実施

- ⑥ 部門別研修の年次計画に基づく人材育成（特定医行為など）及び研修修了者による院内教育の実施

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-------------|---------|---------|
| 救急車受入台数（再掲） | 1,432台 | 1,600台 |
| 紹介率 | 69.8% | 75.0% |
| 逆紹介率 | 94.0% | 95.0% |
| 全身麻酔手術件数 | 1,352件 | 1,368件 |
| ロボット支援手術件数 | 0件 | 75件 |
| 内視鏡治療件数 | 8,511件 | 8,750件 |
| 化学療法件数（再掲） | 1,519件 | 1,666件 |

2 患者の視点に立った医療の提供

(1) 患者にとって最適な医療の提供

- ① クリニカルパス適用率の低い診療科に個別ヒアリング実施及び改善策の策定
- ② クリニカルパスの入院期間の適宜見直し

【指標】

| 病院名 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------|---------|---------|
| 県立広島病院 | 47.4% | 46.0% |
| 県立安芸津病院 | 18.3% | 18.5% |
| 県立二葉の里病院 | 49.4% | 46.0% |

(2) 患者等の満足度の向上

ア 患者サービスの向上

- ① 患者目線での丁寧な説明及びサポートによる患者が主体となった治療の実施
- ② 電子カルテの活用及び診療時間の見直しなどによる待ち時間の短縮
- ③ プライバシーに配慮した環境の整備及び駐車場不足への対応や案内表示等の改善など、快適性に配慮した環境の整備
- ④ 患者等からの意見・要望への適切な対応及び患者満足度向上に向けた職員の接遇研修実施の検討
- ⑤ 療養環境改善に向けた病棟における設備等の改修

【指標】

| 病院名 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------|---------|---------|
| 県立広島病院 | 97.1% | 98.0% |
| 県立安芸津病院 | 95.0% | |
| 県立二葉の里病院 | 93.7% | |

イ 患者支援体制の充実

- ① 入院サポート体制の充実に向けた連携体制等の見直し及び課題整理
- ② 多職種連携による入院前患者支援の継続的な実施
- ③ スマートフォンを活用した言語対応や案内表示等の改善

(3) 積極的な情報発信

- ① 県民とのパブリックリレーションの構築に向けた進捗状況の確認及び課題整理（再掲）
- ② ホームページやSNS等での情報発信の頻度や内容精査及びレジナビへの出展等の実施と成果把握（再掲）
- ③ 地域医療機関と連携した効果的な広報手段の検討（再掲）

【指標】

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------------|---------|---------|
| ホームページ閲覧件数（再掲） | — | 30,000件 |

3 安全・安心な医療の提供

(1) 医療安全対策の推進

- ① 医療事故の分析・改善策の周知及び改善、評価（PDCAサイクル）の実践
- ② 職場の医療安全文化の醸成に向けた職員に対する医療安全研修内容の検討
- ③ 感染症疑い患者の受入経路・動線・ゾーニングの適宜見直し及び防護服の備蓄

【指標】 転倒・転落発生率（レベル2以上）

| 病院名 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------|---------|---------|
| 県立広島病院 | 0.028% | 0.028% |
| 県立安芸津病院 | 0.026% | 0.026% |
| 県立二葉の里病院 | 0.046% | 0.045% |

(2) 適切な情報管理

- ① 医療情報システム管理に関するガイドライン等、国の指針や法令の情報収集及び対応方針の検討
- ② 情報管理への意識向上に向けた訓練メールの不定期送付などによる注意喚起の促進及び適切な情報管理・セキュリティ研修の実施
- ③ 最新のセキュリティ脅威に関する情報収集の適宜実施及びデータバックアップの定期的なチェック等による不測事態への対応整理

4 災害や公衆衛生上の緊急事態への対応

(1) 災害医療における緊急事態への対応

- ① 地域の医療機関との連携による情報の収集・共有方法の確認及び見直し
- ② 院内災害訓練の実施及びBCP・災害対策本部運営マニュアル等の見直し

- ③ 地域関係者を含めた訓練・研修の実施などによる危機管理体制の適宜見直し並びにDMA T 5隊編成を目指した必要人員の精緻化及び研修計画作成（一部再掲）

【指標】 災害訓練の実施回数

| 病 院 名 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------|---------|---------|
| 県立広島病院 | 32回 | 34回 |
| 県立安芸津病院 | 2回 | 3回 |
| 県立二葉の里病院 | 1回 | 3回 |

(2) 公衆衛生上の緊急事態への対応

- ① 感染拡大時における院内組織の編成やゾーニングの見直し及び即応病床数の検討
- ② DMA T 5隊編成を目指した必要人員の精緻化及び研修計画作成（再掲）
- ③ 感染拡大時に備えた効果的な訓練・研修の企画実施や院内における感染対策に必要な設備の見直し及び物資の確保

【指標】 感染症訓練の実施回数

| 病 院 名 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------|---------|---------|
| 県立広島病院 | 6回 | 6回 |
| 県立安芸津病院 | 2回 | 3回 |
| 県立二葉の里病院 | 5回 | 5回 |

5 医療に関する調査・研究の実施

- ① ホームページ等による病院の診療実績及びマスコミ等を活用した最新の取組などのタイムリーな情報発信
- ② 症例データベースの構築や管理体制の充実及び症例データの効率的な収集を可能とするICT基盤の将来的な整備に向けた広島大学との協議

第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

(1) 業務運営体制の構築

- ① 業務運営体制の確立及び運営方法の検討
- ② 民間病院経営の経験者や会計の専門家等の外部人材の登用も含めた体制強化
- ③ 経営課題への対応に向けた法人本部と各病院の連携体制の構築

(2) 中期目標達成に向けた取組

- ① 既存病院の業務運営体制の課題検証と中期計画（目標）を達成するためのPDCAサイクルの確立（再掲）
- ② 医療に関する知見が豊富な経営コンサルタント等の導入検討及び選定

(3) 効果的・効率的な業務運営

- ① 国が進める医療DX詳細情報の適宜確認及び病院関係者等から診療情報の連携方法のニーズの深堀（再掲）
- ② TQM（トータル・クオリティ・マネジメント）、5S活動などの業務改善の継続（再掲）
- ③ 業務内容の見直しによる効率的な執行体制の構築及び委託契約内容の精査
- ④ 業務の効率化に向けた取組の検討及び案のとりまとめ
- ⑤ 病院経営の参画意識醸成に向けた業務改善研修の策定及び実施
- ⑥ 的確な投資を実施するための仕組みと効果検証の体制構築（再掲）
- ⑦ 診療報酬を踏まえた適切な施設基準の届出・算定による収入確保や不要な査定・返戻の回避に向けた業務体制の構築（再掲）

(4) 働きやすい勤務環境の整備

- ① 多様な勤務形態の検討に向けた事例調査及び制度概要設計（再掲）
- ② タスクシフト・タスクシェアの推進による医療職の働き方改革に向けた課題整理
- ③ 各病院の職員に対するアンケート等による職場改善点等の洗い出し

【指標】看護師離職率

| 病 院 名 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------|---------|---------|
| 県立広島病院 | 5.4% | 5.0% |
| 県立安芸津病院 | 3.8% | |
| 県立二葉の里病院 | 8.6% | |

【指標】医療技術職離職率

| 病 院 名 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------|---------|---------|
| 県立広島病院 | 3.6% | 3.5% |
| 県立安芸津病院 | 9.5% | |
| 県立二葉の里病院 | 4.3% | |

第5 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 収入の確保

- ① 各種加算の取得に繋がる国の制度変更に対応できる仕組みの構築及び診療報酬の改定
- ② 診療報酬制度に関する研修の実施等による適正な診療報酬請求業務専門スタッフの育成
- ③ クリニカルパスの入院期間及び病床規模の適宜見直し
- ④ 地域での講演会への職員講師派遣及び医師が不足する中山間地域への人材派遣等による地域医療の確保
- ⑤ 未収金回収担当の継続配置、弁護士法人への債権回収業務の委託継続及び未回収内容の課題整理及び改善策の策定

2 費用の適正化

- ① 経営の効率化に向けた医療需要の把握、医療情報による経営分析及びクリニカルパスの見直し
- ② 多様な病院の機能に応じた在庫の在り方検討及び共同購入や品目・仕様の共通化など、購入方法の見直し
- ③ 規模・機能の見直しに伴う職員配置の適正化

3 的確な投資の実施と効果の検証

- ① 医療需要や採算性・効率性・優先順位等を踏まえた施設・医療機器等の計画的・重点的な整備の実施
- ② 整備した医療機器の稼働状況や費用対効果の分析による投資効果の検証と改善策の策定

【指標】

(県立広島病院)

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-------------|---------|---------|
| 病床稼働率 | 78.8% | 90.0% |
| 新規入院患者数 | 16,103人 | 18,007人 |
| 経常収支比率 | 96.1% | 94.0% |
| 修正医業収支比率 | 91.6% | 91.7% |
| 人件費率(対医業収益) | 56.0% | 48.3% |
| 材料費率(対医業収益) | 31.7% | 29.1% |

(県立安芸津病院)

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-------------|---------|---------|
| 病床稼働率 | 63.5% | 86.7% |
| 新規入院患者数 | 986人 | 1,305人 |
| 経常収支比率 | 84.5% | 82.7% |
| 修正医業収支比率 | 63.7% | 67.8% |
| 人件費率(対医業収益) | 86.1% | 69.5% |
| 材料費率(対医業収益) | 17.9% | 17.3% |

(県立二葉の里病院)

| 項目 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|-------------|---------|---------|
| 病床稼働率 | 63.0% | 74.1% |
| 新規入院患者数 | 5,122人 | 6,603人 |
| 経常収支比率 | 95.7% | 100.3% |
| 修正医業収支比率 | 93.7% | 100.4% |
| 人件費率(対医業収益) | 56.5% | 53.9% |
| 材料費率(対医業収益) | 21.9% | 18.8% |

第6 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算

（単位：百万円）

| 区分 | 金額 |
|----------|--------|
| 収入 | |
| 営業収益 | 40,485 |
| 医業収益 | 36,600 |
| 運営費負担金 | 3,525 |
| その他営業収益 | 360 |
| 営業外収益 | 188 |
| 運営費負担金 | 188 |
| その他営業外収益 | 0 |
| 資本収入 | 28,876 |
| 運営費負担金 | 0 |
| 長期借入金 | 28,848 |
| その他資本収入 | 28 |
| その他の収入 | 0 |
| 計 | 69,549 |
| 支出 | |
| 営業費用 | 37,309 |
| 医業費用 | 36,885 |
| 給与費 | 19,037 |
| 材料費 | 10,950 |
| 経費 | 6,699 |
| 研究研修費 | 200 |
| 一般管理費 | 423 |
| 営業外費用 | 750 |
| 資本支出 | 28,630 |
| 建設改良費 | 26,878 |
| 償還金 | 1,752 |
| 計 | 66,688 |

（注） 計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

【給与費の見積り】

期間中総額 19,460 百万円（一般管理費 423 百万円を含む。）を支出する。なお、当該額は、役員報酬並びに職員基本給、職員諸手当、退職給付金及び法定福利費等の額に相当するものである。

2 収支計画

(単位:百万円)

| 区分 | 金額 |
|-------------|--------|
| 収入の部 | 40,780 |
| 営業収益 | 40,591 |
| 医業収益 | 36,600 |
| 運営費負担金収益 | 3,525 |
| 資産見返補助金等戻入 | 106 |
| 資産見返寄付金戻入 | 0 |
| 資産見返物品受贈額戻入 | 0 |
| その他営業収益 | 360 |
| 営業外収益 | 173 |
| 運営費負担金収益 | 172 |
| その他営業外収益 | 0 |
| 臨時利益 | 16 |
| 支出の部 | 42,849 |
| 営業費用 | 40,293 |
| 医業費用 | 39,870 |
| 給与費 | 19,037 |
| 材料費 | 9,955 |
| 経費 | 6,090 |
| 減価償却費 | 4,607 |
| 研究研修費 | 182 |
| 一般管理費 | 423 |
| 営業外費用 | 2,372 |
| 臨時損失 | 183 |
| 純利益 | ▲2,070 |
| 目的積立金取崩額 | 0 |
| 総利益 | ▲2,070 |

(注) 計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

3 資金計画

(単位:百万円)

| 区分 | 金額 |
|--------------------|--------|
| 資金収入 | 68,632 |
| 業務活動による収入 | 39,050 |
| 診療業務による収入 | 34,978 |
| 運営費負担金による収入 | 3,697 |
| その他の業務活動による収入 | 375 |
| 投資活動による収入 | 28 |
| その他の投資活動による収入 | 28 |
| 財務活動による収入 | 28,848 |
| 長期借入れによる収入 | 28,848 |
| その他の財務活動による収入 | 0 |
| 繰越金 | 706 |
| 資金支出 | 68,632 |
| 業務活動による支出 | 39,428 |
| 給与費支出 | 19,460 |
| 材料費支出 | 9,976 |
| その他の業務活動による支出 | 9,993 |
| 投資活動による支出 | 26,878 |
| 有形固定資産等の取得による支出 | 26,878 |
| その他の投資活動による支出 | 0 |
| 財務活動による支出 | 2,088 |
| 長期借入金の返済による支出 | 0 |
| 移行前地方債償還債務の償還による支出 | 1,752 |
| その他の財務活動による支出 | 336 |
| 翌事業年度への繰越金 | 238 |

(注) 計数は原則としてそれぞれの表示単位未満を四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。

【適切な資金管理の実施】

組織的な資金管理体制の確立と資金の適切な状況把握により、必要となる資金の計画的な管理を実施する。

第7 その他業務運営に関する事項

1 法令・社会規範の遵守

- ① 適切な業務遂行に向けた定期監査及び臨時監査の実施
- ② コンプライアンス遵守による適正な業務運営に向けた研修の実施

2 県立安芸津病院の耐震化

- ③ 耐震化対応実現に向けた基本設計の着手

3 地域社会への貢献

- ① ホームページ、マスコミ等を活用した最新の保健医療情報などのタイムリーな情報発信
- ② 県民の需要の高い講座やセミナー等の情報収集
- ③ 地域イベント等への積極的な参画

【指標】

| 病 院 名 | 令和5年度実績 | 令和7年度目標 |
|----------|---------|---------|
| 県立広島病院 | 5回 | 50回 |
| 県立安芸津病院 | 20回 | |
| 県立二葉の里病院 | 24回 | |